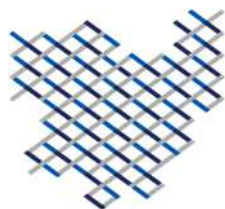


令和6年度

企業変革・

スタートアップ・

グロースサポート事業



Kitakyushu
SDGs Start up
Ecosystem
Consortium

北九州市
スタートアップ推進課

“ものづくりのまち”が舞台の
課題解決プロジェクト



Kitakyushu
Action!
動かせ、未来。北九州市

スタートアップ・エコシステム推進拠点都市 北九州市

令和2年に、内閣府から「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」に選定

目指す将来像

強みの環境・ロボットや、DX分野を中心にテック系エコシステム拠点都市を形成

推進体制

Kitakyushu SDGs Start up Ecosystem Consortium

北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム

60 団体

会長 武内 和久 北九州市長

民間 44団体 大学・高専 9団体

グローバル
アクセラレーション
プログラム実行委員会

会長 津田純嗣
安川電機 特別顧問

安川電機、TOTO、
第一交通産業、メガバンク、
地元金融機関、証券会社、
ベンチャーキャピタル

北九州商工会議所、ゼンリン、
YE DIGITAL、タカギ など

九州工業大学、
北九州市立大学、
北九州工業高等専門学校
など

行政等 7団体

北九州産業学術推進機構、
ジェトロ北九州、
九州経済産業局、福岡県、
北九州市 など

ものづくりのまち 北九州市（産業基盤）

環境産業

- リサイクル技術企業・施設が集積
- 洋上風力発電産業の総合拠点化



理工系人材の集積

理工系大学・高専・専門学校から、
年間約3,500人の高度人材を輩出



ロボット産業

ロボット産業の振興による
大学の人材育成と地域産業の創生



北九州学術研究都市

- 理工系大学、研究機関が集積
- 地域企業のロボット導入・DXを支援



北九州市産業振興未来戦略

戦略の位置づけ

- ✓ 今後のまちづくりの方向性を示す北九州市基本構想・基本計画は、経済成長を最優先課題に位置付け。10年以内に市内総生産 4 兆円を目指す。
- ✓ 本戦略は、基本構想・基本計画の分野別計画として、「稼げるまち」の実現に向けた具体的な指針。

戦略体系

スローガン | 世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」～課題解決先進都市への挑戦～

戦略

地域企業の成長・発展と
高付加価値化戦略
〈稼げる企業に変革する〉

産業の裾野を広げる
成長産業創出戦略
〈稼げる企業を創出する〉

「民」が主役の
資源活用戦略
〈稼げる企業が活躍する〉

方策

産業基盤のポテンシャル開花
〈稼げる場づくり〉

学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進
〈稼げる基盤づくり〉

生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等
〈稼げる企業づくり〉

DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備
〈稼げる人材づくり〉

アテンションを集めるブランディング
〈稼げるきっかけづくり〉

メガリージョンの構築
〈稼げるエリアづくり〉

取組

(スタートアップ関連のみ抜粋)

アジア諸国の成長力を取り込む
対日投資の促進
海外スタートアップの誘致

スタートアップと
多様な掛け合わせによる
新たな価値の創造
スタートアップ
×
課題・市内企業・レガシー産業

エリアで掛け合わせる広域連携
スタートアップ支援の推進
都市間連携・大学間連携

北九州市のスタートアップ支援 全体像

方向性

大学発など市内スタートアップの創出、誘致の強化

COMPASS小倉

COMPASS小倉アクセラレーションプログラム

事業計画作成・資金調達・販路開拓支援

スタートアップ起業家育成サポート事業

民間の起業家育成プログラムへ補助（100万円）

アントレプレナーシップ教育

小中学生向け起業体験プログラム

PARKS

九州工業大学、北九州市立大学など九州の18大学による

- ・大学発スタートアップの創出
- ・アントレプレナーシップ教育
- ・プレCxO人材確保



開業ワンストップセンター

開業手続を専門家がサポート

スタートアップビザ

外国人による起業の要件を規制緩和

産学官が連携したスタートアップ支援

スタートアップの成長

企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業

市内スタートアップ成長支援プログラム

- 市内スタートアップに特化した
資金支援・伴走支援・人材採用支援
- ・ディープテック枠 500万円×2年
 - ・その他分野枠 200万円×2年
 - ・事業展開枠 1,000万円×2年

イノベーション共創プラットフォーム

北九州市の行政・地域・企業が抱える課題とスタートアップをマッチング

グローバルアクセラレーションプログラム

北九州市の民間大手14社による販路開拓・資金調達支援

YASKAWA TOTO

認定ベンチャーキャピタル

北九州市が認定したVC（29社）からの資金調達を支援



シェアリングファクトリー

試作品製作から量産化までに必要な設備・機材をシェアリングできる拠点を、民間と連携して整備

ファンド

地域中核企業や認定VCがファンドを組成（予定）

スタートアップによる課題解決・オープンイノベーション

イノベーション支援プログラム

市内・市外スタートアップによる課題解決・市内企業とのオープンイノベーションへ
資金支援・伴走支援

- ・行政課題解決枠 400万円×2年
- ・市内企業協業枠 400万円×2年

トライアル発注（政策目的随意契約）

スタートアップ等のプロダクト・サービスを随意契約で公共調達に接続

地域活性化起業人

民間のプロ人材がオープンイノベーションを支援、スタートアップを紹介

推進体制・環境

スタートアップ・エコシステム推進拠点都市

- ・全国8エリアのうちの一つに選定
- ・国による支援



スタートアップエコシステムコンソーシアム

産学官金（60団体）によるスタートアップ支援

スタートアップ都市推進協議会

- ・11自治体が加盟
- ・首都圏マッチングイベントの開催
- ・JETROと連携した海外派遣プログラム
- ・海外大規模イベントへの参加

海外展開 SINGAPORE WEEK OF INNOVATION & TECHNOLOGY

コミュニティ・オフィス提供



機運醸成イベント

デモデイ・交流会を兼ねた大規模イベント

国家戦略特区

規制緩和によるビジネス環境の整備

雇用労働相談センター

雇用・労務管理に関する相談対応（弁護士・社労士）

4

企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業 <事業スキーム>

- ✓ 市内スタートアップに特化した、研究開発・実証、事業展開、人材採用に対する資金支援・伴走支援を行う成長支援プログラム
- ✓ スタートアップによる行政課題の解決や市内企業との協業に対し資金支援・伴走支援を行うイノベーション支援プログラム



市内スタートアップ成長支援プログラム

	研究開発・実証支援		事業展開支援
	ディープテック	その他分野	
内容	実証実験及び研究の実施、並びに試作品・サービスの開発・改良に係る調査・検討・開発・検証・準備等に対する資金支援・伴走支援		製品・サービスの売上拡大のための活動に係る調査・検討・開発・検証・準備等に対する資金支援・伴走支援
支援対象	未実装の製品・サービスの研究開発・実証を希望する、 シード期のディープテック系 市内スタートアップ	未実装の製品・サービスの研究開発・実証を希望する、 ディープテック系以外の シード期の市内スタートアップ	実装された製品・サービスの事業展開を希望する、 アーリー期の市内スタートアップ
支援期間	1社程度	2社程度	1社程度
支援額	2年度で最大1,000万円/社 1年度あたり最大500万円/社	2年度で最大400万円/社 1年度あたり最大200万円/社	2年度で最大2,000万円/社 1年度あたり最大1,000万円/社
助成率	最大2年度 10分の10		
対象経費	土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、研究開発費、消耗品費、保守・改造修理費、外注費、その他経費 ※人件費（労務費）及び旅費は対象外		
その他	CxO人材の採用支援、首都圏人材・外国人材のインターン・トライアル採用に対する旅費等の支援		

イノベーション支援プログラム

行政課題解決

市内企業協業

内容

北九州市が設定した課題を解決するためのスタートアップによる実証実験及び研究開発の実施、並びに試作品・サービスの開発・改良に係る調査・検討・開発・検証・準備等に対する資金支援・伴走支援

市内企業との協業によるオープンイノベーション又は生産性向上を目的とした、スタートアップによる実証実験及び研究開発の実施、並びに試作品・サービスの開発・改良に係る調査・検討・開発・検証・準備等に対する資金支援・伴走支援

支援対象

行政課題を解決する技術・サービスを持つ
市内又は市外スタートアップ

4社
程度

市内企業が協業を希望する
市内又は市外スタートアップ

4社
程度

支援期間

最大 2 年度

支援額

2年度で最大 800万円 / 社

1年度あたり最大 400万円 / 社

助成率

10分の10

対象経費

土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、研究開発費、消耗品費、保守・改造修理費、外注費、その他経費

※人件費（労務費）及び旅費は対象外

7

イノベーション支援プログラム 「行政課題解決」 枠 募集テーマ

No.	テーマ	課題	実施したい実証実験、求める技術・サービス
1	児童虐待対応業務DX	児童虐待対応件数が増加傾向にあり、法令等に則り、担当職員を増やす必要があるが、業務経験者には限りがあるため、経験の浅い職員が増え、きめ細かな人材育成に時間を要している。	DXの活用により、事務作業時間の短縮や人材育成の強化等を図る仕組みを構築する。
2	目視点検等に代わる 栈橋の点検	潮流が速い場所の海上に設置されている栈橋では、潮流の影響が比較的少ない干潮時間帯で点検を行う必要があり、さらに海水面と栈橋上部工下面部との間が狭いため、小型ボートや潜水士による目視、水中ドローン等による点検の作業時間を十分に確保することが難しい。	潜水士の目視点検等に代わる、海面上の狭小空間における潮流の影響を受けない新技術による施設点検を行いたい。
3	下水道処理設備の 維持管理・保全技術の DX	下水道処理設備の維持管理においては、連続稼働を強いられる重要設備が多くあり、予期せぬ故障や緊急停止に至らないように、DXを活用した低コストな設備保全技術が求められている。	下水汚泥処理設備（遠心脱水機）に対する ①電気信号解析（ESA）を利用した設備モニタリングの有効性の確認 ②異常振動の発生原因の分析 ③安定運転につながる改善策の立案
4	主要な駅周辺エリアの 価値の向上	小倉・黒崎地区では、建物の建替え等、都市機能の更新が進まず、空き店舗や平面駐車場等の低利用な不動産が増加するなどの課題がある。 また、東田地区では、商業施設や博物館等の公共施設、商店街が分断され回遊が少ない。	①公共空間や民間の空き地等の低利用不動産の活用と収益化 ②新たな人の流れや滞在を生む場づくり ③人流解析や新しい移動手段など、先端技術の実証実験のフィールドとして、まちを活用
5	若者のコミュニティ 形成	少子高齢化の進展や単身高齢者の増加により、社会的孤立のリスクが高まるなど、地域で支援を必要とする人が増加している一方で、自治組織加入率が著しく低下するなど、地域活動の担い手が減少傾向にあり、人と人とのつながりが希薄化している。 また、孤独感を抱える若年層が増加傾向にある。	Z世代の若者が、人と人とのつながりを実感し、その重要性を感じるための新たなコミュニティを創出する。 コミュニティの創出においては、オンライン上とリアルな場、双方からアプローチが可能なコミュニティとする。また、オンラインやリアルな場に参加することのハードルを下げるとともに、新たな出会いや思いがけない出会いが生まれるコミュニティの管理・運営について検証する。
6	市街地での鳥（カラス、 ムクドリ）被害の低減	市街地でのカラス、ムクドリの集団飛来は、糞害や騒音などの生活環境被害を引き起こすが、捕獲は難しく追払いしかできない。また、突然現れるため、対応が後手になる。	市街地でのカラス等の飛来を、定点的かつ自動的に感知し追い払う。
7	デジタル技術を活用 した有害鳥獣の生息域 の可視化	①有害鳥獣の生息状況等は、被害情報や捕獲情報から断片的な把握しかできておらず、効率的な対策ができない。 ②相談記録はあるものの、資料が膨大で総合的な分析ができていない。 ③地図上で表されていないため、傾向が分かりにくい。	目撃・被害・捕獲情報から、簡易に生息状況マップを作成し、情報分析やマップ上で時系列的な変化を示せるサービス。
8	市営住宅の共益費徴収 に係る訪問の負担軽減	市営住宅には共同で使用する施設があり、その維持管理及び維持管理費（共益費）は、北九州市では入居者負担としており、入居者（団地自治会等）が共益費を徴収・管理しているが、高齢化の進行に伴い、特に各戸訪問による共益費の徴収や未払い者への督促が、入居者の負担となっている。	集金のための訪問を減少させるツールを活用して、共益費徴収に係る負担を軽減したい。
9	フリーテーマ (応募者が提案)	北九州市の行政課題及びその解決に資する取組を、応募者が提案してください。	

事業スケジュール（1年目）

令和6年

7月10日（水）
～8月5日（月）

スタートアップ公募

- ・市内スタートアップ成長支援プログラム（4社程度採択予定）
- ・イノベーション支援プログラム
（行政課題解決枠：4社程度採択予定、市内企業協業枠：4社程度採択予定）

8月6日（火）
～16日（金）

一次審査（書面審査）

- ・外部有識者及び本市職員が審査
- ・8月21日（水）頃に一次審査通過者を決定

8月26日（月）
～28日（水）

二次審査（プレゼンテーション審査会）

- ・外部有識者及び本市職員で構成する審査会
- ・8月末頃に採択者を決定

R6. 9月～R7. 2月

スタートアップ支援

- ・資金支援、伴走支援、事業の進捗確認、経費モニタリング 等

令和7年

3月下旬

スタートアップ機運醸成イベント

- ・採択スタートアップの取組紹介、有識者によるトークセッション、スタートアップのプロダクト・サービスのブース展示、交流会 等

3月

- ・経費の精算、取組実績の取りまとめ
- ・2年目の支援を希望するスタートアップの審査・更新

支援対象スタートアップ等の定義・要件（主なもの）

スタートアップ

次のいずれにも該当する企業をいう

- ① 中小企業基本法第2条に規定する中小企業者であつて、
みなし大企業に該当しないこと（市内スタートアップ成長支援プログラムのみ適用）
- ② 法人格を有すること
- ③ 設立してから15年以内であること

市内スタートアップ

次のいずれかに該当する企業をいう

- ① 法人登記簿上の本社又は本店が、北九州市内にある企業
- ② 主たる事業所が、北九州市内にある企業

ディープテック

特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術であり、その事業化・社会実装を実現できれば、国や世界全体で解決すべき経済社会課題の解決など社会にインパクトを与えられるような潜在力のある技術で、北九州市が認めたもの

市内企業

次のいずれかに該当する企業をいう

- ① 法人登記簿上の本社又は本店が、北九州市内にある企業
- ② 北九州市内に事業活動を行う拠点があり、かつ常勤の従業員を雇用している企業

2年度目の支援

- ① 本市の予算措置状況によるため、支援の中止や支援額の縮減があり得る
- ② 1年度目の取組結果や2年度目支援の必要性を審査し、支援の可否を決定する

審査基準（一次審査・二次審査共通）

評価項目		評価の視点	配点
事業性	社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会へもたらすインパクトの大きさ・広がりはあるか。 ・社会課題解決とビジネスが両立するものか。 	10点
	先進性、競合優位性	<ul style="list-style-type: none"> ・競合相手に対して優位な技術や特許等を有し、模倣困難なものであるか。 	10点
	新規性	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業における取組は、技術・サービス又は事業領域において新規性を有するか。 	10点
	市場性、成長性	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット顧客が明確で需要が見込めるか。 ・参入市場は成長可能性・収益性があるか。 	10点
	実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業における取組は、実現可能性が高いか。 	10点
北九州市での取組	北九州で取り組む意義	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市の現状・課題を理解しており、課題解決ができる取組の提案であるか。 ・本取組推進時の連携先や販路開拓先として想定される事業者や団体は明確か。 	10点
	成果目標、実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・設定目標は挑戦的かつ実現性の高いものか。 ・本取組及び経理事務を遂行できる実施体制となっているか。 	10点
北九州市への貢献	支援後の取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業における支援期間の終了後も、北九州市で事業を推進する計画が具体的に検討されているか。 	10点
	北九州市への定着	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市での事業拡大（売上、雇用、事業所拡大、設備投資等）をどの程度見込んでいるか。 	10点
加点項目	認定VCからの出資	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>北九州市認定ベンチャーキャピタルから、令和4年4月1日以降に出資を受けていること。</u> 	5点
	重点分野	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市が重視する環境、ロボット、ものづくりDX、宇宙、半導体関連産業のいずれかの推進に資する取組であるか。 	5点
計			100点

北九州市認定ベンチャーキャピタル

29社のベンチャーキャピタル等が、北九州市のスタートアップ・エコシステムの発展に協力

令和5年度 認定VC：18社 ※認定期間：令和7年3月末まで

名称	所在地	名称	所在地	名称	所在地
(株)FFGベンチャービジネスパートナーズ	福岡市	日本ベンチャーキャピタル(株)	東京都	(株)みらい創造機構	東京都
QBキャピタル(株)	福岡市	epiST Ventures(株)	東京都	山口キャピタル(株)	下関市
GxPartners有限責任事業組合	福岡市	(株)東京大学イノベーションキャピタルパートナーズ	東京都	レオス・キャピタルパートナーズ(株)	東京都
栖峰投資ワークス(株)	京都市	HAKOBUNE(株)	東京都	AAファンド2号有限責任事業組合	東京都
ベータ・ベンチャーキャピタル(株)	福岡市	ひびしんキャピタル(株)	北九州市	(株)ゼロワンブースターキャピタル	東京都
DRONE FUND(株)	東京都	三菱UFJキャピタル(株)	東京都	ユナイテッド(株)	東京都

令和6年度 認定VC：11社 ※認定期間：令和8年3月末まで

名称	所在地	名称	所在地	名称	所在地
ANRI(株)	東京都	(株)エフベンチャーズ	東京都	(株)HERO	東京都
AAファンド有限責任事業組合	東京都	Gazelle Capital(株)	東京都	Beyond Next Ventures(株)	東京都
インキュベイトファンド(株)	東京都	(株)先端技術共創機構	東京都	Full Commit Partners(株)	東京都
(株)NCBベンチャーキャピタル	福岡市	(株)Deep30	東京都		



令和4年4月1日以降に、認定VCから出資を受けるスタートアップは、審査の際に加点

12